

仙台市博物館協議会（令和元年度第3回）会議録

1. 会議の年月日 令和2年2月12日（火）
2. 開会及び閉会の時刻 午後3時から午後5時00分まで
3. 出席委員の氏名（五十音順・敬称略）
跡部薫、尾崎彰宏、菊池勇夫、佐川正敏、佐藤憲子、伊達泰宗、長岡龍作、濱田淑子、森美智子
※今回から小野寺健委員から跡部薫委員に交代、濱田淑子委員は本協議会で退任する。
4. 説明者の職及び氏名
館長＝高橋泰、庶務係長＝高橋薫、学芸企画室長＝樋口智之、指導主事＝片寄角洋、学芸企画室主事＝小田嶋なつみ、学芸企画室主任・記録＝水野沙織
5. 議題及び報告並びに議事の要旨
 - (1) 会議録署名委員の選任
会長と濱田淑子委員とする。
 - (2) 報告事項
 - ① 令和元年7～12月の観覧者数について（庶務係長報告）
〔事務局からの報告要旨〕
「資料1」のとおり。平成31年度のこの期間は企画展のみのため、特別展が開催された平成29年度・30年度より観覧者数が減少している。
 - ② 企画展「戦国の伊達氏－植宗から政宗へ」の結果報告について（学芸企画室長報告）
〔事務局からの報告要旨〕
「資料2」のとおり。古文書が多い展示のなか、和紙が触れるパネルは好評で、年末に開催されたSMMAミュージアムユニバースでも活用した。
 - ③ 仙台市市制施行130周年記念 企画展「やっぱり絵図がすき！」の結果報告について（学芸企画室長報告）
〔事務局からの報告要旨〕
「資料3」のとおり。「どこから来ましたか？」という観覧者の参加型パネル展示によって、日本および世界各地から来館していることがよくわかり、好評だった。
〔委員からの意見等〕
企画展「戦国の伊達氏」と共に観覧者の意見として図録が求められている。他の展覧会でも図録の売れ行きは好調のようだ。展示の内容を持ち帰ることができるし、予算的や手間の問題はあと思うが、博物館の活動を振り返るためにも刊行して欲しい。図録の

作成の基準があれば教えて欲しい。

〔事務局からの回答〕

企画展の展示資料は館蔵品が中心となっており、絵図展では斎藤報恩会寄贈資料の図録など仙台市博物館の収蔵品図録で対応できると考えていた。委員の意見は今後の参考とする。来年度の秋の企画展「仙台藩の絵画」では収蔵品図録を刊行する予定である。

〔委員からの意見等〕

今まで世界からの客層をどのように把握していたのか？来館者分布の地図パネルを見て明るい気持ちになった。今後も継続して欲しい。

〔事務局からの回答〕

客層はアンケートなどで把握していた。(補足：ボランティアの活動日誌などでも確認できる) アンケート以外にもコミュニケーションがあってもいいかもしれない。オリンピックに向けて外国のお客様も増えており、多言語対応を視野に入れて受付では英語の研修にも行っている。

④市史活用推進事業及び資料レスキューについて（指導主事報告）

〔事務局からの報告要旨〕

「資料4」のとおり。

⑤教育普及事業について（指導主事報告）

〔事務局からの報告要旨〕

「資料5」のとおり。

⑥大規模改修について（学芸企画室長報告）

〔事務局からの報告要旨〕

12月末に設計費の予算内示があり①長寿命化（老朽化した設備を回復する）②機能向上分（収蔵スペース拡大、展示室のLED化等）について①に9051万円②のうち収蔵スペース拡大に277万2千円、展示室改修に4672万8千円の設計予算が計上された。スケジュールとしては令和2年度に設計、令和3～5年が工事となる。今後、設計段階でのハード面、ソフト面についても委員の意見をいただきながら、より良い博物館活動に結びつけていきたい。

⑦新年度の展覧会予定について（学芸企画室長報告）

〔事務局からの報告要旨〕

「資料6」のとおり。

〔委員からの意見等〕

2. 支倉常長帰国400年記念企画展のタイトル「政宗が見た世界」となっているが、政宗の想いや考えが含まれるので「見ていた世界」のほうがよいのでは？図録は作るのか？

〔事務局からの回答〕

今からタイトルは変えられないが、担当者も委員と考え方は同じであり、展示内容には反映される。図録は作らない予定である。

〔委員からの意見等〕

図録は学芸員の当時の思いを形に残すものである。それも博物館の役割なのではないか。企画展でも図録を出すように考えて欲しい。

〔事務局からの回答〕

今までは一年に一度、図録を作成する特別展に力をいれてきたが、企画展でもメリハリが必要と思うので、今後の検討としたい。

〔委員からの意見等〕

3. 仙台藩の絵画について、お抱え絵師の作品だけでなく、その生活基盤や暮らしぶりも紹介して欲しい。

〔事務局からの回答〕

史料に記事が見られるものは紹介していきたいと思う。

〔委員からの意見等〕

この時代、どのような主題で絵が描かれていたのか。武家にとって絵画がどういうものだったのかを伝える展示を希望する。どんな建物の中にどのような絵画があったというだけでなく、武士にとって絵画が精神的にどう高まっていたのかを知りたい。

まだ、時間的に余裕のある2, 3の企画展には委員の意見を参考にして欲しい。

2.の企画展について現在のローマ法王からメッセージをもらったことはあるのか？過去だけでなく、現在においても常長を通した関係を模索してもよいのでは。

〔事務局からの回答〕

検討する。

(3) 協議事項

①企画展「仙台の美と出会うー福島家三代の書画・工芸品コレクション」の開催について

〔事務局からの報告要旨〕

「資料7」のとおり。

〔委員からの意見等〕

(会場に掲出していたポスター案を見て) ポスター案のデザインに落ち着きがない。

〔事務局からの回答〕

2案のうち、もう1案は落ち着いたものだったが、若い世代にはこちらが人気で、人目を惹くデザインだと考えた。昨年の猫展と同じポップなデザインにして、若い世代の人にも来館してもらいたいと思う。緑地に赤の文字は見にくいので改める予定である。

〔委員からの意見等〕

東京でも個人コレクションの展覧会が続いている。コレクションにもそれが作られる時代や社会的背景があるので、展示にも取り入れてほしい。今までと見え方が違ってくると思う。

[事務局からの意見等]

3代それぞれの想いや社会的背景にも触れていく。また、在仙の文化人の書画を楽しむネットワークグループである是心会の出品札が箱に入っているの、その活動も伝えたいと考える。

(4) その他

① その他

[事務局からの報告] (庶務係長)

来年度の協議会の日程については別紙のとおりである。次回の協議会の案内について、今回と同じくメールと郵送の両方でお伝えする形で良いか。

[委員]

異議無し

[委員からの意見等]

博物館や美術館には周りの周辺環境が大事であり、この川内地区は文教地区として保全して欲しいと思う。

[事務局からの回答]

仙台市博物館はこの場所で大規模改修を行うもので、今後も長くこの場所で活動を行っていく。改修については、意見をいただきながら進めていきたい。

[委員からの意見等]

毎回時間が延びるので、今後は協議会資料を会議の事前に送付してもらい、より効率的な運営を心がけて欲しい

[委員からの意見等]

収蔵庫問題は、宮城県美術館も抱えている問題。県と市で協力して解決していく方向にならないか検討してほしい。

[事務局からの回答]

収蔵スペースについては敷地が史跡のため拡張工事を行えず、現在の建物の中で工夫するしかなく、館外にスペースを求めることになる。当面、廃校などを利用することを想定しており、文化財課や仙台市歴史民俗資料館とも一緒に動いていく予定である。

協議会資料を事前に送付する件については、新年度以降に検討していく。

次回、令和2年度第1回協議会は5月26日(火)15時からの開催を予定している。